

重点目標「確かな学力」

①自分の考えを伝える ②達成感を味わう ③基礎基本の定着

「豊かな心を育む授業づくり ～話そう！伝え合おう！～」 (研究主題)

<課題>

- ・自分の考えをまとめることが苦手
- ・考えを比較することが苦手
- ・基礎基本の未定着
- ・読解力が低い
- ・語彙が少ない

<課題解決のために>

- ・考えをまとめるためのツール（図や表など）の活用
- ・「話す・聞く力を育む指導」系統表の活用
- ・語彙を増やすためのことばプリントの活用
- ・けいさん☆応援隊（縦割りボランティア活動）
- ・昼休み学習の充実（宿題の直しや授業でわからないところの質問） など

教科の結果より

正答率・無解答率で見る課題(本校の正答率／全国の正答率)で記載しています。

○国語

「読むこと」の領域では、資料や文章などから情報を整理したり、叙述を基に捉えたりすることに課題が見られた。

- ・目的や意図に応じて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること(37.3%/56.6%)
- ・登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること(50.8%/66.9%)

また、漢字を文章の中で正しく使うことが、無解答率に注目すると全国と比較して高い傾向にあり、課題として挙げられる。

○算数

「データの活用」の項目に関して、以下の課題が見られた。

- ・簡単な表を読み取り必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理すること(55.9%/73.3%)
- ・示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断すること(33.9%/49.3%)

全体として国語・算数ともに読解すること、また記述式の解答に課題がある。(正答数が低く、無解答率が高い傾向にある。)

児童質問紙より

本校の回答率

全国の回答率

PC・タブレット学習などの ICT 機器を活用することで、楽しみながら学習を進めることができる。

98.2

86.0

PC・タブレット学習などの ICT 機器を活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる。

78.6

86.1

- ・低学年から朝学習などの時間も利用して漢字学習を行い、積み重ねていくことで定着をはかる。
- ・朝学習などの時間を利用して読解プリントや語彙を増やすための暗唱活動に全校で取り組む。
- ・自分の考えをまとめたり、文章を要約したりする時間を確保する。さらに、条件付きの文章を書くことにも挑戦する機会を増やす。
- ・他教科にわたってデータを読み取ったり、実際にデータを基にグラフを作成したりする活動を増やす。
- ・タブレットを授業の中で効果的に使用することで、学習意欲の向上を図るとともに、意見交流の活性化などにも繋げていく。

これまでのとりくみ

全国学力・学習状況調査の結果より

これからのとりくみ